

1. 略歴

1986年3月	東京大学文学部宗教学宗教史学専門課程 卒業
1986年4月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 入学
1988年3月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 修了
1988年4月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程 進学
1991年9月	シカゴ大学大学院ディヴィニティ・スクール宗教史専攻留学 (至1994年6月)
1995年12月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程単位取得退学
1996年1月	日本学術振興会特別研究員 (至1998年12月)
2001年4月	大正大学文学部国際文化学科助教授
2006年4月	大正大学文学部表現文化学科教授
2010年4月	大正大学文学部人文学科教授
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

宗教学 (理論研究・比較研究)、宗教と教育の関係、アメリカの宗教

宗教学の基礎でありながら、20世紀後半以降、方法として成立し難くなった「比較」に注目し、その観点から、理論研究を行うとともに、ケーススタディとして宗教と教育の関係やアメリカの諸宗教を分析している。

b 研究課題

宗教比較の方法、宗教史の記述について、学界ならびに一般社会に見られる問題とその背景・原因を洗い出し、具体的対案を提示することを課題とする。個々の課題設定は以下の通りである。

- (1) 比較理論の検討として、①欧米宗教学の変遷、②宗教分類概念の問題、③宗教に対する代替概念の問題をとりあげる。
 - ①「比較宗教学 comparative religion」から出発した欧米の宗教学とその基礎前提が、その後通時的・実証的研究を重視することによってどのように変化したかを調べる。人文的宗教学と社会科学的宗教学の制度的位置関係についても、その歴史的変遷過程を明らかにし、その中での国際学会の役割を批判的に検討する。
 - ②「世界宗教」「民族宗教」の対概念をはじめ、宗教学で伝統的に用いられてきた宗教分類概念の妥当性を、昨今の批判理論に照らして検討する。特にマックス・ウェーバーの宗教社会学(「世界宗教の経済倫理」)の受容が、日本とアメリカの宗教学でどのように異なるかに焦点を当て、何がその違いをもたらしたのか、それが今日の両国の学界・社会におけるマクロな宗教比較言説をどう規定しているかを調べる。
 - ③2000年代以降の宗教現象を分析するために、ポスト・セキュラー論・概念がしばしば用いられるようになったが、それは日本の現状をとらえるのにどこまで有効かを検討する。
- (2) 近現代社会の公教育において宗教がどう扱われてきたかに関する歴史的研究を行う。

ある国の公教育では宗教が排除される、他の国では宗教が取り込まれるという現象を、単に「宗教教育の有無」や「政教分離の有無」として見るのではなく、排除・吸収どちらの場合でもその前提として公権力により「宗教」が定義されていることに注目し、各国の教育制度と法令・教科書の中にその表れを探る。一般概念としての「宗教」のみならず、キリスト教、仏教といった各宗教に関する記述と、教育方法・思想や当該国の宗教・社会情勢の関係を調べる。対象国はイギリスとアメリカを中心とする。
- (3) (2)の研究成果を踏まえ、国内の公教育における宗教の描き方・教え方に関する問題点を指摘し、改善のための具体的方策を示す。対象は中等教育から高等教育、社会人教育を含む。

c 概要と自己評価

上記の(1)(2)(3)の課題にほぼ同時進行で取り組み、全てに関して書籍ないし論文によりまとめた成果を発表した(d参照)。(1)の①②については国際宗教学会の学会誌刊行60周年記念出版をはじめとする2つの論文集に2本の英語論文を寄稿した。③については米国で2回の研究発表を行ったほか、国際ジャーナル用に“On Secularity and Post-Secularity in Japan: Japanese Scholars' Responses”と題した特集号を編集している。(2)の宗教と公教育のテーマについては海外でも関心が高まっており、日本の現状分析については成果を英語論文・伊語論文で発表し、イギリスのそれについては国際学会での口頭発表後、日本語論文として発表した。(3)については自らの実践を踏まえた英語論文を発表するほか、海外のシンポジウムで口頭発表を行った。

d 主要業績

(1) 論文

Satoko Fujiwara, "Establishing Religion through Textbooks: Religions in Japan's 'Ethics' Program," *Textbook Gods: Genre, Text and Teaching Religious Studies*, ed. by Bengt-Ove Andreassen and James R. Lewis, pp. 43-61, 2014.6

Satoko Fujiwara, "Problemi nell'insegnamento delle religioni in un Paese non religioso," *L'educazione nella società asiatica*, a cura di Kuniko Tanaka, Asiatica Ambrosiana 6, pp. 99-113, 2014.9

藤原聖子、「アメリカ宗教学における「呪術」概念」、江川純一・久保田浩編『「呪術」の呪縛 上巻（宗教史学論叢 19）』、47-78 頁、リトン社、2015.3

Satoko Fujiwara, "How Religious Studies is Taught in Japan," *Teaching Theology & Religion*, 18/3, pp.276-279, 2015.7

Satoko Fujiwara, "An Analysis of Sixty Years of Numen: How Much Diversity Have We Achieved?," *NVMEN, the Academic Study of Religion, and the IAHR: Past, Present, and Prospects*, ed. by T. Jensen and A. W. Geertz, pp.391-414, 2015.11

Satoko Fujiwara, "Why the Concept of 'World Religion' Has Survived in Japan: On the Japanese Reception of Max Weber's Comparative Religion," *Contemporary Views on Comparative Religion*, ed. by Peter Antes, Armin W. Geertz and Mikael Rothstein, pp. 191-203, 2016.2

藤原聖子、「テロに抗するイギリスの宗教教育」、『現代宗教 2016』、55-76 頁、国際宗教研究所、2016.3

(2) 解説

藤原聖子、「解説」、増澤知子『世界宗教の発明—ヨーロッパ普遍主義と多元主義の言説—』、449-465 頁、みすず書房、2015.3

(3) 学会発表

国際、Satoko Fujiwara, "The Dynamics of Religious Diversity and Social Cohesion within School Textbooks: A Reflection on 'Contextual' Religious Education Research," CARD (Critical Analysis of Religious Diversity) Seminar, Nyborg, Denmark, 2014.6.6 (招聘講演)

国内、藤原聖子、「ポスト多文化主義とポスト世俗主義の接合—英国宗教教育の現在—」、日本宗教学会、同志社大学、2014.9.13

国際、Satoko Fujiwara, "Explaining Japanese youth religiosity after Aum: spiritual or post-spiritual?," AAS/WMU Workshop: Against Insularity: Moving Beyond "Japanese Religions," Kalamazoo, USA, 2015. 3.30 (招聘講演)

国際、Satoko Fujiwara, "A Critical Reflection on the "Communitarian Turn" in Religious Education," IAHR, Erfurt, Germany, 2015.8.27

国際、Satoko Fujiwara, "Why the Concept of 'World Religion' Has Survived in Japan: On the Japanese Reception of Max Weber's Comparative Religion," IAHR, Erfurt, Germany, 2015.8.28

国内、藤原聖子、「サンデルが宗教の授業をするとどうなるか—英国教科科の新展開—」、日本宗教学会、創価大学、2015.9.5

国際、Satoko Fujiwara, "Critics, Caretakers, or Creators?: The Role of Scholars of Religion in Japanese RE," Southern Denmark University Symposium, Odense, Denmark, 2015.11.11 (招聘講演)

国際、Satoko Fujiwara, "Explaining Japanese youth religiosity after Aum: an alternative or a new mainstream?," American Academy of Religion, Atlanta, USA, 2015.11.23

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、京都女子大学、「これからの社会人における 他者を気づかう宗教リテラシー」、2014.11

セミナー、浄土宗総合研究所、「教科書の宗教記述の問題について」、2015.5

特別講演、都倫研、「市民性教育としての宗教の学習 —その可能性と課題をイギリスの実践から考える—」、2015.6

セミナー、南山大学宗教文化研究所・Templeton 財団助成プロジェクト、「日本の中等教育の教科書において「宗教」はどのように扱われているか」、2015.10

特別講演、浄土宗総合研究所、「公教育と宗教—教科書からみた現状と課題—」、2016.2

非常勤講師、大正大学、2011.9～

(2) 学会

国内、日本宗教学会、理事、日本学術会議、会員、哲学委員会幹事(2014.10～)。日本宗教研究諸学会連合、幹事(2014.12～)。

国際、International Association for the History of Religions, Executive Committee Member, 2010.9～

国際、World Humanities Conference (CIPSH/UNESCO), Core Group Member, 2016.1～